

香ト協大川支部／研修・支部会

話し方のコツ&労務管理

【香川】香川県トラック協会の大川支部（堀口守支部長）は19日、研修会・支部会を開催し、ビジネスマ

ナー研修などを行うエスの内海加奈子社長が「話し方はビジネスに影響する」、東かがわ労働基準監督署の横山章広労働基準監督官が「労務管理について」をテーマに、それぞれ講演した。堀口支部長は、5月23日の香ト協総会で本部の副会長を退任したことについて触れ、「交通事故対策委員長、全ト協交通対策委員長を務め、有意義な4年間だった」と述べ、支部長として今後も活動を支えていく考えを示した。



「SNSではうまくコミュニケーションでできて、対面だとちゃんできない若者が増えてきている」と指摘。ハーフスマイル（前歯が見える笑顔）や効果的な話し方のコツなどを実演を交えて伝授した。

また、大手物流会社の残業代未払い問題など最近の業界動向に言及した上で、

「軽油価格は落ち着いているが荷動きは少し悪い。これから本格的な夏を迎え、従業員が熱中症にならないよう気を配るとともに、交通事故を起こさないよう指

導教育を徹底して欲しい」と呼び掛けた。

内海氏は地元ケーブルテレビなどでも活躍するマネージャー講師。最近の若手労働者について「自宅に固定電話の無い世代が社会に出て来ている。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）ではうまくコミュニ

ケーションできて、対面だとちゃんできない若者が増えてきている」と指摘。ハーフスマイル（前歯が見える笑顔）や効果的な話し方のコツなどを実演を交えて伝授した。

横山氏は、大手物流業者が進める週休3日制の仕組みなどを解説。また、「労基署は労働者を守る行政をしているが、事業者からの相談にも前向きにに応じている。気軽に利用して欲しい」とアピールした。

なお、支部会では、本部の斎藤文克参与が、最近のトラック行政について説明した。（江藤和博）